



Rotary International  
District 2660

国際ロータリー 第2660地区  
**2013-2014**  
地区委員会



---

# 活動報告書

---

国際ロータリー第2660地区 福家 宏  
2013-14年度ガバナー

2013-14 ACTIVITY REPORT

## 目次

---

一年を振り返って	1-2
ガバナー指名委員会	3
意義ある業績賞委員会	4
地区研修委員会	5-6
クラブ奉仕部門	
クラブ奉仕・拡大増強委員会	7
広報委員会	8
職業奉仕部門	
職業奉仕委員会	9-10
社会奉仕部門	
社会奉仕委員会	11
青少年奉仕部門	
新世代(青少年)合同委員長会議	12
青少年活動委員会	13-14
ローターアクト委員会	15-16
インターアクト委員会	17-18
青少年交換委員会	19-20
国際奉仕部門	
国際奉仕委員会	21
ロータリー財団部門	
地区財団監査委員会	22
ロータリー財団委員会	22-23
資金推進小委員会	24-25
ポリオ・プラス小委員会	26
地区財団資金管理小委員会	27
補助金小委員会	28
地区補助金・グローバル補助金担当グループ	29
奨学金・学友・R平和フェローシップ担当グループ	30
職業研修チーム担当グループ	31
米山奨学部門	
米山奨学委員会	32-34
災害支援プロジェクト	35-36
危機管理委員会	37
地区大会実行委員会	38-39
ロータリーの友	40
地区財務委員会	41-42
決算書	43-46

---

## 一年を振り返って

ガバナー 福家 宏

2013-14年度の終わりを迎えるにあたりまして、先ずは多くの方々に心から感謝申し上げます。PGの皆様方、高島凱夫直前G、村橋義晃直前地区代表幹事、G補佐の皆様、地区委員会の皆様、ご指導ご鞭撻本当に有難うございました。またPETS、地区協議会、地区大会に対して絶大なるご指導、ご支援、ご協力を賜りましたコ・ホスト・クラブとサポート・クラブの皆様、有難うございました。幾重にも御礼申し上げます。そして会員数わずか16名の我が八尾中央RCの仲間にも、とりわけ山田正雄地区代表幹事、中井敬和地区副代表幹事、吉村清明地区大会実行委員長、片岡基博財務委員長には、深く感謝しています。G事務所のスタッフの皆様にも大変ご苦勞をおかけ致しました。有難うございました。

地区Gの大切な職責として、地区内全てのRCへの公式訪問がございます。お蔭さまで私は3月14日(金)をもって全てのRCへの公式訪問を無事完了することが出来ました。訪問に際しては各クラブのロータリアンの皆様に温かい歓迎を頂き、フランクな雰囲気懇談会を持つことが出来ましたことに厚く感謝申し上げます。

振り返りますと2012年9月、11月の2回、東京にGEと配偶者が招集され、GE研修セミナーが開催されました。研修が進むにつれて同期のGEとは随分親しくなる一方、Gの職責の重大さを思い知ることになりました。こんなことでGが務まるのかと自ら叱咤激励しつつ、2013年1月に米国サンディエゴでの国際協議会で5日間にわたる仕上げの研修を受けたわけであります。研修後、私には「もうあとには引けない、一杯やるだけだ」という覚悟が出来ました。

ロン・D・バートンRI会長が掲げられた今年度のテーマ「Engage Rotary Change Lives」を抱えて帰国。「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」という日本語訳に悩まされつつ、私は地区方針を「感動の体験を!!人々にも自身にも」Participate!!～参加し、敢行しよう～と決定し、2013年3月、PETS、地区チーム研修に臨みました。そして間もなく地区協議会です。私はRIテーマを尊重しつつ、地区方針について語り続けました。そして地区協議会を終えましたが、2013年1月以後これら主要行事開催に向けての準備に献身的に取り組んで下さった皆様に、頭が下がる思いを致しました。

G補佐会議はG補佐エレクト会議から始まり、2年間にわたり毎月開催されました。私は全てのG補佐の皆様とともに熱心にロータリーについて議論を交わしましたが、G補佐の皆様の熱意には感激致しました。お一人お一人が、リーダーシップを発揮して、RCを良い方向に導いて行くために力を注いで下さいました。私もG補佐の皆様から多くを学ばせて頂くことが出来たと思っております。

2013-14年度はFVP開始の年でありました。地区ロータリー財団グループの各委員会が、早い時期からFVPを如何に手際よく活用するかについて、議論を尽くし、新しい補助金モデルについて全ての理解を深める努力を続けて頂いたことは、大きな成功に繋がりました。2660地区は日本で最も活発に新しい補助金を活用し、グローバル補助金の承認件数は日本一となりました。溝畑地区財団委員長が地域財団セミナーや、ロータリー財団ゾーンセミナーにおいて、成功への道のりについてプレゼンテーションを求められるまでになったのです。

地区ロータリー財団委員会の皆様にも、FVPを実践して下さいました全てのロータリアンの皆様にも厚く感謝申し上げます。

また地区チームの皆様の素晴らしいお働きにも頭が下がります。五大奉仕部門の各委員会の皆様のご活躍にも感謝致しております。

PETSの時から私はロータリー財団、ポリオ、米山記念奨学会への寄付について繰り返しお願いをして参りましたが、ロータリアンの皆様には温かいご支援を賜りまして、本当に有難うございました。

最大の行事である地区大会は、終了するまで不安と緊張が付いて回りました。会員数16名の我が八尾中央RCが本当に地区大会を成功させることが出来るのだろうか、という不安感は、八尾中央RC会員だけでなくコ・ホスト・クラブの皆様も抱いておられたものと存じます。そのような中で、RI会長代理が台湾高雄西RCの張瑞欽PGと決まり、張PGはご夫妻ともに日本語を話されると聞き、どんなにか安堵を致しました。張PGと同期の若林PGご夫妻に会長代理のエイドをお引き受け頂いたことも、嬉しいことでした。そして蓋を開けてみますと、参加者数は大会第一日目、開会本会議に800名、RI会長代理歓迎晩餐会に345名、第二日日本会議には1900名以上という多数にのぼり、プログラムは順調に進み、大会は大過なく終了しました。終了直後、私は幾分興奮しつつ周りに居る多数のロータリアンに片っ端からお礼を申し上げました。嬉しい限りでありました。

1～8組のIMは、それぞれに綿密に計画が練られ、参加者に感動を与える素晴らしい集まりとなりました。ホスト・クラブの会長様、実行委員長様初め会員の皆様方、サポートされたガバナー補佐の皆様のご尽力に厚く御礼申し上げます。

「一年間を振り返って」という題目で原稿を書きましたが、結局は私を支えて下さった皆様への感謝に埋め尽くされてしまいました。1年を終わってみて思うことは、何度考えても感謝のみ、これに尽きると思いました。

皆様有難うございました。

## ガバナー指名委員会

(ORC) 高島 凱夫	委員長	高島 凱夫 (大阪中之島RC)
(ORC) 横山 守雄	委員	横山 守雄 (大阪中央RC)
(ORC) 大谷 透		大谷 透 (大阪西南RC)
(ORC) 松本 新太郎		松本 新太郎 (八尾RC)
(ORC) 岡部 泰鑑		岡部 泰鑑 (大阪城南RC)

### 実施状況及びコメント

ガバナー月信8月号において、2016-2017年度ガバナー候補者の推薦を地区内全クラブに対して依頼致しましたところ、大阪北ロータリークラブより松本進也君を推薦する旨の申し出がありました。

したがって、国際ロータリー細則第13条、及び当地区ガバナー指名委員会の規約に基づき、2013年11月6日に開催した地区ガバナー指名委員会において慎重審議の結果全員一致をもって同君を2016-17年度国際ロータリー第2660地区ガバナー候補者として推薦することに決定しました。

ガバナー指名委員会の決定に基づき、福家宏ガバナーは松本進也君を2016-17年度ガバナーとして指名宣言されました。委員会の皆様のご協力に感謝申し上げご報告とさせていただきます。

## 意義ある業績賞委員会

委員長	高島 凱夫 (大阪中之島RC)
委員	松本 新太郎 (八尾RC)
	岡部 泰鑑 (大阪城南RC)

### 実施状況及びコメント

ロータリークラブの活動の中で、「意義ある業績賞」は社会奉仕・国際奉仕を中心としたR Iが奨励し、推奨すべき活動の中で、地域社会の問題やニーズに取り組むものとして、本年度は三つのクラブより申請がありました。

委員会で慎重に精査致しました結果、大阪そねぎきロータリークラブの活動を福家ガバナーを通じてR Iに推薦いたしました。

なお、2014年5月12日に、R Iよりの受賞が決定したとの報告を受けております。2014年12月の地区大会にて表彰状の贈呈が行われる予定です。

## 地区研修委員会

リーダー	井上 暎 夫 (千里RC)
サブリーダー	若林 紀 男 (大阪東RC)
	岩田 宙 造 (大阪南RC)
	大谷 透 (大阪西南RC)
委 員	岩津 陽 介 (大阪御堂筋本町RC)
	鈴木 洋 (八尾東RC)
	泉 博 朗 (大阪帝塚山RC)
	岡田 耕 治 (東大阪東RC)
	五味 千 秋 (大阪心斎橋RC)
	磯田 郁 子 (大阪淀枕ちゃやまちRC)
	木村 芳 樹 (大阪南RC)

### 実施状況及びコメント

#### 1. 委員会開催 11回

2013. 7. 10	2014. 1. 23
8. 22	3. 27
9. 12	4. 17
10. 17	5. 22
11. 21	6. 12
12. 17	

DLP、綱領和訳などのディスカッション、セミナーの実施の検討  
ロータリーの心と実践 2013改訂版について

#### 2. クラブ研修リーダーセミナー

2013. 9. 21	葉業年金会館
2014. 2. 8	大阪YMCA会館

#### 3. その他

2013. 7. 20	ガバナー補佐エレクト研修	井上
2014. 2. 21	地区大会 分科会 (合同研修会第1部)	井上

クラブよりの卓話依頼について、随時対応

### その他特記事項

前年度にクラブ研修リーダーアンケートを行いましたので、その結果を踏まえてセミナーに反映を致しました。

また、次年度のための地区協議会の研修部門もセミナーの一環と捉え、内容についての検討を行い、クラブの負担に考慮しました。

## 一年間を振り返って

クラブにおいて、研修リーダーがクラブ活性化にどのように寄与頂けているのか、状況の把握のためと、その役割、心得の理解を深めるためのセミナーを実施しました。

クラブの歴史、規模、地域性等一律に行うセミナーを如何に効果的なものにできるのかは今後の大きな課題であり、ガバナー補佐との連携や協力が必要であり、また戦略計画のクラブでの採用も検討すべきものと考えております。

効果的なクラブとするための研修というこの大きな課題は、地区での連続性を保ちながら、受け手側が単年度制の多いクラブの事情も考慮しつつ気長に取り組むものと、認識致しました。

また、2013年の規定審議会での結果を織り込んだ「ロータリーの心と実践」の改定に取り掛かりました。次年度にて、地区HPでのアップと引き続いて印刷にかかるべく予算要求を致しました。

もう一件、クラブからの要請がありましたクラブ研修マニュアルの作成については、次年度にて発刊することを確認致しました。

次年度にて現在の研修委員会のメンバーが予定任期満了となるため、ガバナーエレクトと相談の上、1部予定者のオブザーバー出席を要請し継続性の確保に努めました。